

H27年度 東北地区カワウ勉強会

カワウの生態



NPO法人バードリサーチ
加藤 ななえ

今日の内容

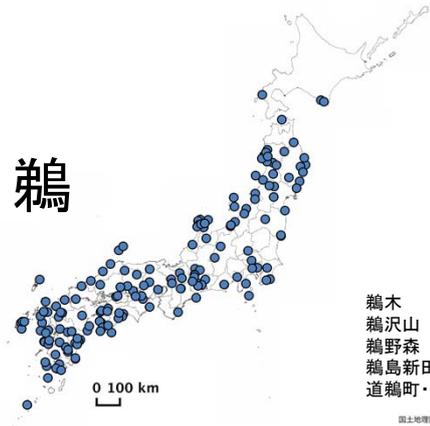
- ◎ カワウの生息状況
- ◎ カワウの生態(対策へのヒント)
 - 移動能力が高い
 - 魚を食べる
 - 集団性が強い
 - 繁殖期が長期化しやすい

今日の内容

◎ カワウの生息状況

- ◎ カワウの生態
 - 移動能力が高い
 - 魚を食べる
 - 集団性が強い
 - 繁殖期が長期化しやすい

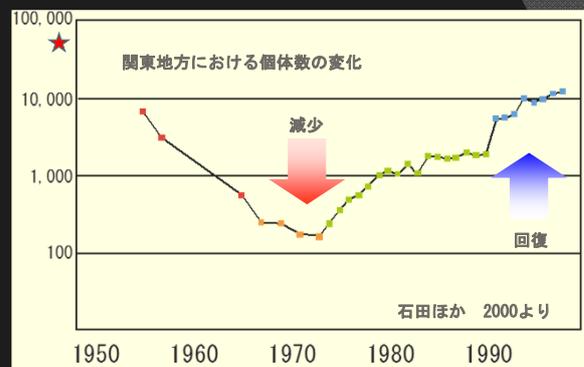
鵜

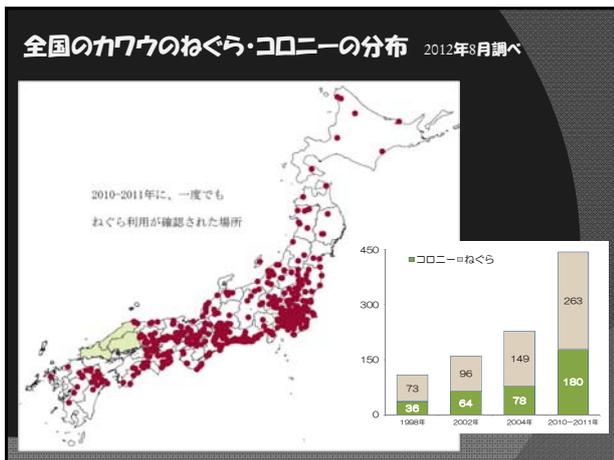
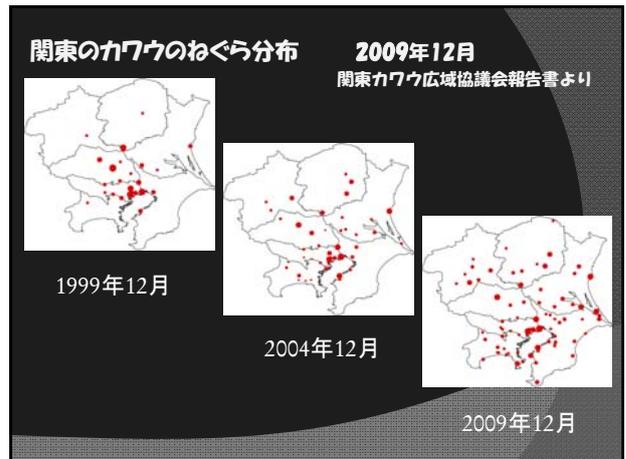
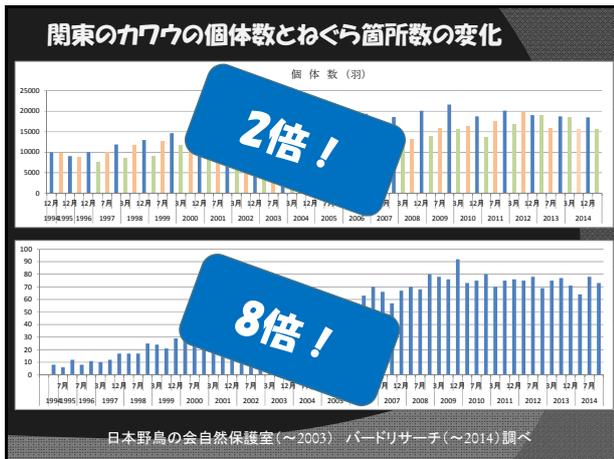


カワウと人と



生息状況の変遷





なぜ数が減ったのか? 1960年代～1970年代の変化

- 沿岸部の埋め立て、河川の護岸化(東京湾など)
- 土地開発、大規模建設(空港など)
- 水質汚濁→採食環境の悪化
- 餌資源の減少
- 食物連鎖を通じた有害物質の蓄積(ダイオキシン類含む)

(福田ら(2002) などの情報より作成)

生息環境、採食環境が悪化

なぜ数と分布が回復したのか? 1970年代後半以降の変化

- 狩猟圧の低下
- 繁殖地の保全(不忍池)、採食地の保全
- 水質改善など(採食環境回復)
- 有害化学物質の減少
- 河川構造の単純化(採食環境好転)
- 魚類の放流による誘引
- 計画性のない駆除や追い出しによる分散促進

(福田ら(2002) などの情報に追加改変)

採食環境の改善とカワウの行動変化

ポイント!

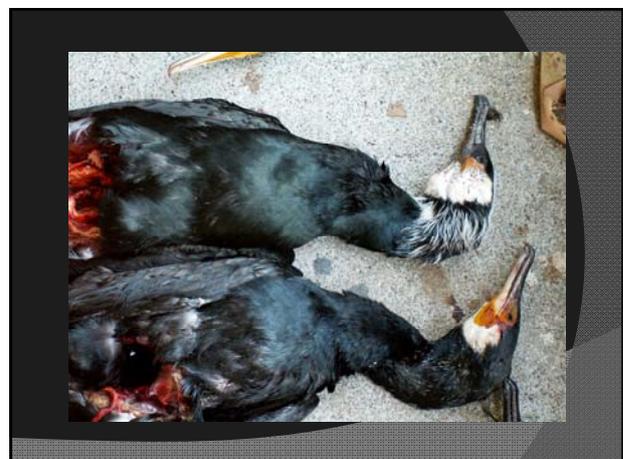
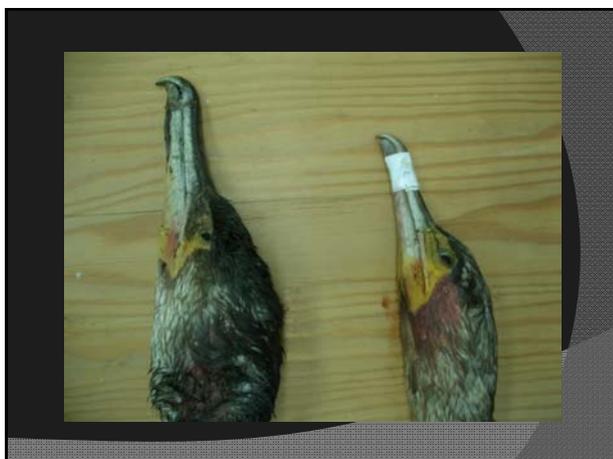
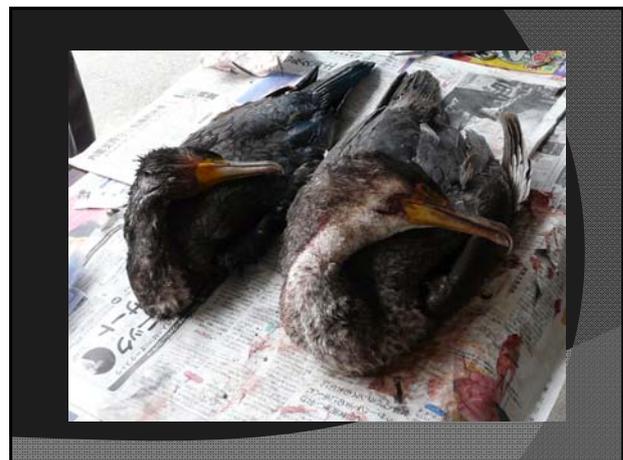
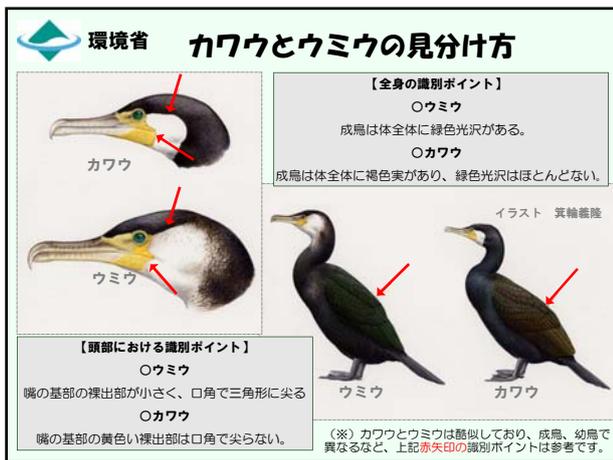
- カワウは古来よりヒトの身近に生きてきた。
- カワウは外来種ではない。
- 数十年にわたるカワウの不在を経て、カワウとのつきあい方の技術が失われたのではないか。

今日の内容

◎ カワウの生息状況

◎ カワウの生態

- 移動能力が高い
- 魚を食べる
- 集団性が強い
- 繁殖期が長期化しやすい



今日の内容

- カワウの生息状況

- カワウの生態**

- 移動能力が高い
- 魚を食べる
- 集団性が強い
- 繁殖期が長期化しやすい

今日の内容

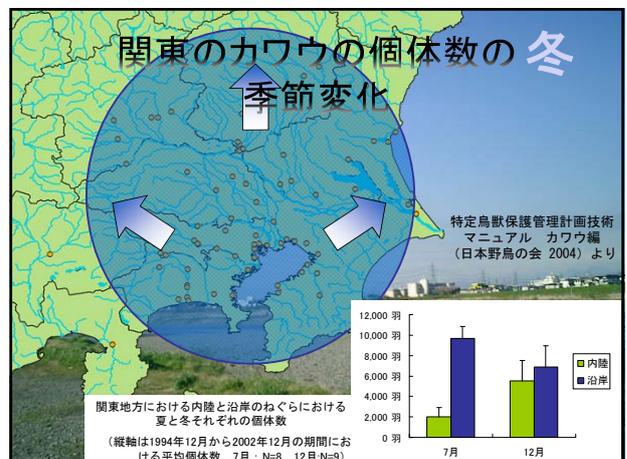
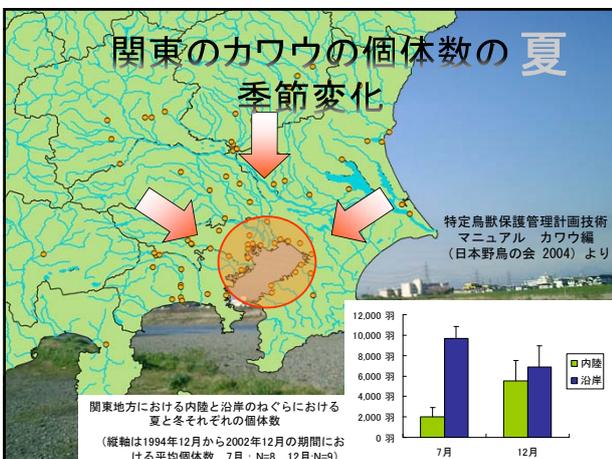
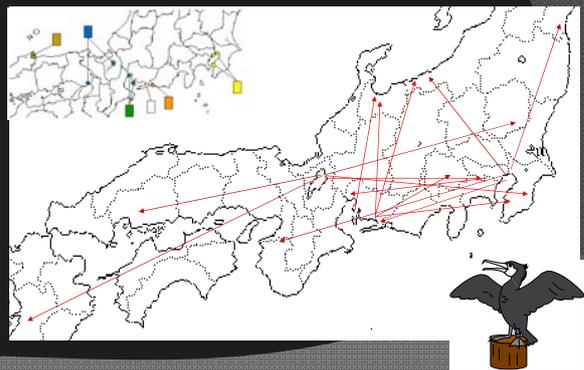
- カワウの生息状況

- カワウの生態**

- 移動能力が高い**
- 魚を食べる
- 集団性が強い
- 繁殖期が長期化しやすい



標識調査から確認されたカワウの長距離移動の例





カワウ 特徴 I

移動能力が高い

ポイント！

- ・季節移動をする。
- ・日々の行動圏は約10～15km。



今日の内容

- ◎ カワウの生息状況
- ◎ **カワウの生態**
 - ・移動能力が高い
 - ・魚を食べる
 - ・集団性が強い
 - ・繁殖期が長期化しやすい

今日の内容

- ◎ カワウの生息状況
- ◎ カワウの生態
 - ・移動能力が高い
 - ・**魚を食べる**
 - ・集団性が強い
 - ・繁殖期が長期化しやすい



採食に関わるカワウの能力

- ◎ 潜水深度 最大14.6m 平均7.0m(佐藤 2010)
- ◎ 潜水スピード 最大4.7m/秒 平均1.6m/秒 (Ropert-Coudert 2006)
- ◎ 水に濡れやすい羽毛
 - ・水中で浮力が少ない→潜水のエネルギー少
 - ・体温を奪われる→エネルギーの消費
- ★ 潜水に特化した分たくさんの餌が必要である

どこで？ どのくらいの量を？

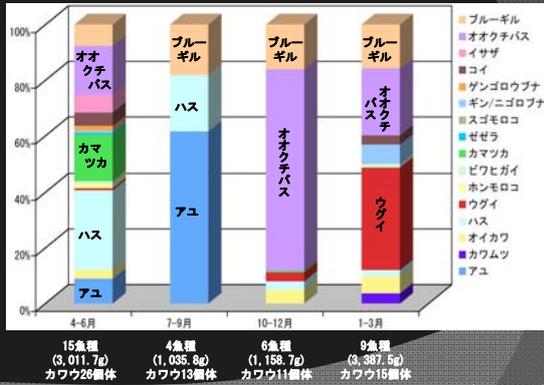
海水域から淡水域までの広い**水域**を利用

採食場所の**季節移動** ← 魚の生息状況変化

採食量

飼育下 330g (日本野鳥の会1999)
 野外 体重の26.2% (佐藤ほか 1988)
 育雛期 通常の1.5～2倍

琵琶湖伊崎コロニー周辺のカワウの捕食魚の季節変化(重量比)



何を?

魚類32科65種 (亀田ほか 2002)

その他 アメリカザリガニなど甲殻類

ポイント!

- ・嗜好性はないと考えられている
- ・捕まえやすい魚を多く食べる (逃げ足の遅さ 大きさ 群れ)
- ・たくさんいる魚を多く食べる

今日の内容

- ◎ カワウの生息状況

◎ カワウの生態

- ・移動能力が高い
- ・魚を食べる
- ・集団性が強い
- ・繁殖期が長期化しやすい

今日の内容

- ◎ カワウの生息状況

◎ カワウの生態

- ・移動能力が高い
- ・魚を食べる
- ・**集団性が強い**
- ・繁殖期が長期化しやすい



採食



ねぐら・休息



繁殖



ポイント!

- ・群れることが普通
- ・妙な恐怖心を抱かない
- ・群れたがる性質をうまく利用した計画づくりを

今日の内容

- ◎ カワウの生息状況

◎ カワウの生態

- ・移動能力が高い
- ・魚を食べる
- ・集団性が強い
- ・繁殖期が長期化しやすい

今日の内容

- カワウの生息状況
- カワウの生態(対)
 - 移動能力が高い
 - 魚を食べる
 - 集団性が強い
 - 繁殖期が長期化しやすい**



カワウの繁殖

- 場所: 水辺の林等
- 巣: 直径40~60cm
 巣材: 枯れ枝や折り取った枝
 産座には柔らかいものを敷く
- 卵数: 3~4個
 抱卵日数: 25~28日
 巣立ち: 47~60日
 繁殖成功率: 0.6~2(関東の場合)
- 繁殖期は比較的最長い



主要な営巣地の繁殖時期

コロニー	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
北海道 幌延												
青森県 山辺沢沼												
埼玉県 武蔵丘陵森林公園												
千葉県 行徳鳥獣保護区												
愛知県 鶴の山												
三重県 赤野島												
滋賀県 竹生島												
滋賀県 伊崎												
兵庫県 昆陽池												
大分県 沖黒島												
大分県 黒木池												

ポイント!

- コロニーの攪乱は、関係者の合意の下、計画的に行なう。
- なぜか
 - コロニーの分散は被害地域を拡大する
 - 繁殖期の長期化 = 被害時期の長期化



カワウの特徴のまとめ

- 移動能力が高い
- 魚食性である
- 集団性が強い
- 繁殖期が長期化しやすい



おわり